

新成人の抱負



「人の役に立つ」



「地元で活躍!!」



「優しい人になる」

「豊岡市で教師になる」
「ネイリストになる」



「ステキな保育者に!」



「日本のリーダーになる!!」

2021年度豊岡市成人式

《問合せ》生涯学習課

☎23-0341

好天に恵まれた1月9日、市民会館で、2021年度豊岡市成人式を開催しました。833人の対象者のうち振り袖やスーツに身を包んだ681人の新成人が参加し、会場前では早くから級友らとの再会を喜び合う姿が見られました。また、式典は、新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるため2部制で行い、前半は豊岡以外の地域、後半は豊岡地域の新成人が参列しました。新成人代表として達富愛さん、松原瑞貴さん、浪花花梨さん、山田健人さんの4人が誓いの言葉を述べ「豊岡の空を飛ぶコウノトリのように力強く羽ばたいていきます」と大人としての決意を新たにしていました。

「ふるさと豊岡」を心に未来へ羽ばたく

成人という大きな節目を迎えて、今まで支えていただいた全ての方々へ感謝の気持ちで胸がいっぱいです。この2年間は何をするにしても自粛が続き、思い通りにいかなかった人も多いことかと思えます。しかし、その中で、当たり前前を当たり前前にできることへの感謝というのも実感しました。今までの全ての経験を糧にして「ふるさと豊岡」のことをいつも心に置きながら、私たち新成人はそれぞれ羽ばたいていきます。

成人式実行委員長 松原瑞貴



成人式の企画・進行を務めた実行委員の皆さん



※掲載している情報は編集時点(1月14日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。

性別に関係なく支え合う地域づくりを目指して

変化してきた地域の意識

Vol.1

男女の違いで生じている格差(ジェンダーギャップ)解消の取組みは地域コミュニティでも精力的に進められています。先進的な取組みをしている地域コミュニティの関係者にインタビューし、地域住民の意識変化の状況などについて3回シリーズで紹介します

《問合せ》ジェンダーギャップ対策室 ☎21-9004

コミュニティ向けの

竹野地区の地域コミュニティ組織。人口2,608人、1,029世帯。17区で構成。地域の意思決定や方針決定に誰もが参画できるジェンダーギャップ解消の取組みが、昨年NHKや関西テレビで紹介され、話題となった。



左から新年度に部長を務める向井さん、会長の小高さん、地域マネージャーの岡田さん

男女格差を考える機会を重ねることが大切

地域にどんなジェンダーギャップがありましたか

(小高会長) これまで地域の中でジェンダーギャップを意識したことはありませんでした。例えば市全体でも女性の区長はいないと思います(359区中0人)が、その状況にまひしていました。区長は男性、女性はそれを支えるという状態が当たり前になっていました。

テレビ取材を受けたり、研修を受ける中で、地域に男女格差があることを認識し、その解消を考えないといけないという気持ちになりました。ジェンダーギャップについて考える機会が何度かあり、だんだんと意識化されていっ

たように思います。考える機会を重ねていくことが大切なことだと実感しました。

ジェンダーギャップを考える研修やマスコミの取材を受けて、何か変化は

(小高) 組織の再編や地域づくり計画の策定など

女性の参画を得ること」を意識して取り組んでいます。地域づくり計画(※1)を作るにあたって、策定委員会を設置しました。6月に本委員会参画をお願いしたところ委員9人中、女性が4人となりました。

また、今、コミュニティ組織の見直しをしています。来年度以降の代議員(※2)の選出方法を変え一定程度、女性が参画してもらえるように各区に正式にお願いしました。

向井さんが部長の依頼を受けたときにどう思いましたか

(向井新部長) ジェンダーということを意識していたわけではないのですが、何かできればと思えました。

竹野は商工会をはじめとして女性がいろんな場面で活躍しています。皆さんと一緒に運営できればと考えています。また、代議員に女性が一人でも多く選出されて、何かが変わってほしいと思います。

会議は女性が増えることで発言しやすくなった

会議で女性がなかなか発言しにくいということがあると思います

(岡田マネージャー) ある会議で女性の人数が16人中2人から4人になりました。男性が多い中で女性が2人だと発言しにくそうにされていました。男性が4人になって、誰かが一言発言すると、それに続いて言いやすくなっていくように感じました。もっと女性が増えると思います。

女性の指摘で「あれ、おかしいのかな」と気付く

女性の参画促進の取組みを進める中で感じたことは

(小高) 行政区も力が弱くなってきた、これからは女性にも参画してもらい、男女が一緒になって地域をつくっていくかなければならないと思います。女性が参画して、これまでもおりの会議に出席して「これ、おかしいんじゃないか」と意見がでたときに、初めてみんなが「あれ、おかしいのかな」と気付く。その意味でも女性の参画は非常に大切なことだと思います。

ジェンダーギャップ解消に向けたこれからの展開は

(小高) 地域コミュニティには会長、副会長、会計の3役があります。今年度の会計を女性にお願いしました。将来的には正副会長も女性が務められるような状況になればいいなと思っています。

※1 地域づくりの基本的な考え方を明確にした計画
※2 行政区から推薦され、コミュニティ総会において議決権を持つ人

2~5

今月のイチオシ

6~7

市政ニュース

8~23

クローズアップ 豊岡

24~29

くらしの情報

30~31

保健行事

32~33

つどいの広場・図書館

34~35

主な相談・主な行事